

2011年

平成23年

主なできごと

この一年、いろいろなことがありました

1月 中国電力(株)と島根原子力発電所に 係る情報連絡協定を締結

出雲市と中国電力株式会社は、1月25日、「島根原子力発電所に係る出雲市民の安全確保、情報連絡等に関する協定」(情報連絡協定)を締結し、異常事態発生時には瞬時に、また、平常時においても運転状況などの連絡が中国電力から入ることになりました。



3月 3月11日14時46分 東日本大震災

気象庁観測史上最大となるマグニチュード9.0を記録する大地震により、東日本を中心に多くの被害が発生しました。この災害による死者は1万5000人以上、行方不明者は4,600人以上と阪神・淡路大震災を上回る戦後最大の災害となりました。

出雲市では、職員の派遣や救援物資の送付、義援金を募ったりするとともに、被災者の方の受け入れを行うなどの支援を行いました。

6月 森林再生に向けて 松枯れ対策の再検証を

急速に松くい虫の被害が進行する中、森林再生に向け、これまでの防除対策を検証し、効果的で市民の総意が得られるような総合的な指針や手法を考えるため、6月24日、「松枯れ対策再検討会議」を立ち上げました。この会議では、これまでの防除対策や被害実態を検証し、松くい虫被害に有効な防除対策やシカ被害対策、治山を含めた森林再生の有効な手法を調査検証しました。



1月 出雲市でトキ分散飼育が始まる

佐渡トキ保護センターから繁殖ペア2組が移送され、1月22日から出雲市でのトキの分散飼育が始まりました。初年度となった今年は、10羽の繁殖に成功。国際保護鳥「トキ」の種の保存に大きく貢献することができました。

3月 看護系専門学校の誘致決定

看護師不足の解消と若者の定住促進を目的に誘致活動をしてきた看護系専門学校について、学校法人大阪滋慶学園との間で出雲市への進出について合意しました。

現在、市では、出雲医療看護専門学校(仮称)(設置予定学科:看護師・理学療法士・柔道整復師)の平成25年4月開校(場所:今市町)に向けて、学校法人と協力しながら準備を進めています。



完成予想図

6月 ドクターヘリ運航開始

県立中央病院を基地病院に、ドクターヘリの運航が始まりました。ドクターヘリは、かけがえない命を救うため、救急現場と病院間の『命を繋ぐ架け橋』として県内各地に出動しています。



8月 出雲市自治基本条例(仮称) 市民懇話会 提言書を提出

出雲市自治基本条例(仮称)の制定をめざして議論してきた「出雲市自治基本条例(仮称)市民懇話会(委員17人)」が提言書をまとめ、8月30日、市長に提出しました。

市では提言書を基に、今後、条例の原案を作成し、議会への説明やパブリックコメントなどを実施しながら条例制定をめざします。

8月 出雲神話まつりで “出雲盆踊り”を披露

今年の出雲神話まつりは、ステージイベントの会場をくにびき中央通りに、花火会場を大津神立河川敷に変更し、開催しました。

ステージイベントが開催された20日には、出雲市の無形文化財に指定されている荒茅盆踊りの曲に、各地域を表現した詩をあわせた「出雲盆踊り」が披露され、会場を盛り上げました。

9月 斐伊川放水路への分水を了承

国の斐伊川・神戸川治水事業による放水路の整備が完成後、斐伊川放水路への分水について、市は、9月30日、了承することを県知事へ正式に伝えました。

併せて、大橋川改修(松江市)や新内藤川などの内水排除対策の確実な実施を県知事に要請しました。



提供：出雲河川事務所

青少年が文化・ スポーツ分野で大活躍

- * 7月、「第36回全日本選抜少年剣道個人錬成大会」の中学生個人の部で、青木大晟君(出東剣道スポーツ少年団所属、斐川東中学校3年)が優勝。この大会での小中学生の優勝は、県勢では初めてとなりました。
- * 8月、「2011世界少年野球大会」で日本代表が優勝。中国・四国地方では唯一、黒田雅也君(平田マイティボーイズ所属、斐川西中学校3年)が選出され、日本代表として活躍しました。
- * 10月、「第64回全日本合唱コンクール全国大会」中学部門の混声の部で、斐川西中学校合唱部が、部門1位となる文部科学大臣賞を受賞。



7月 三市友好交流都市提携30周年

岡山県津山市、長崎県諫早市、出雲市の三市による友好交流都市が提携30周年を迎え、7月29日に記念式典を開催。その中で、三市による災害時相互応援協定を締結しました。

また、中国・漢中市との友好都市提携は20周年、アメリカ・サンタクララ市との姉妹都市提携は25周年を迎えました。



10月 出雲市・斐川町合併

10月1日、出雲市と斐川町の合併により、人口17万5千人、面積624km²の新しい出雲市が誕生しました。10月30日には、出雲市議会議員増員選挙を行い、斐川選挙区から6人の議員が選出され、新たなまちづくりの第一歩を踏み出しました。

11月 道の駅キララ多伎 来訪者2,000万人達成

平成10年にオープンした「キララ多伎」の来訪者が、今年11月に2,000万人を達成しました。「キララ多伎」は、日本海が一望できる景色や地元の特産品が人気で、近年は、イルカの見える道の駅としても有名となっています。